

プロジェクトマネージャーのための組織・プロジェクト変革推進時の利害関係者への意識改革 具体的アプローチ【オンラインライブ】（4122032）

本講座では、理論と事例、ケーススタディの演習を通して、本当の意味で意識改革・ムーブメントを進める能力開発（成長）を実現する方法を修得して頂きます。具体的には、「変わりたくても変わらない」という心理的なシレンマの深層を掘り起こす「免疫マップ」手法、そして、総論賛成、各論反対となるなか、変革を推進するため、「技術問題」と「適応課題」を切り分け、組織の熱気・温度のコントロールの仕方を説明します。

開催日時	2022年9月29日(木) 10:00-17:00ライブ配信
カテゴリー	IS戦略実行マネジメント・プロジェクトマネジメント ヒューマンスキル
DXリテラシー	Why(DXの背景) Mind(マインド・スタンス)：新たな価値を生み出す基礎としてのマインド・スタンス
講師	中谷英雄 氏 (株式会社ピーエム・アラインメント 取締役 ビジネスコンサルティング部長) PMI認定PMP 2013年 米国PMI最優秀教育プロバイダー認定 スクラムアライアンス認定スクラムマスター (CSM) プロダクトオーナー (CSP0) ＜略歴＞ 1. BIPROGY (旧：日本ユニバック) (1983年～) 2. 三井住友信託銀行 (旧：三井信託銀行) (1990年～) 3. ピーエム・アラインメント (2006年～現職) ・主に金融IT大規模プロジェクトのPMO支援に従事。 ・その後大学院でデザインマネジメントを学び、社会課題の解決、金融商品の開発等でデザイン、アート、顧客体験等を活用。 ・現在、新事業創出、デザイン戦略、イノベーションとDX推進に関わる諸テーマを中心に、コンサルティング活動、教育活動を展開している。 ＜研究会活動＞ ・PM関連：PMIJ会員(アジャイルPM研究会会員、プログラムマネジメント研究会会員) ・イノベーション関連：JUAS (イノベーション研究会会員JIIP3) PMIJ会員(ソーシャルPM研究会) ・震災復興関連のNPO向けに、イノベーションプロセスの活用支援展開中 ＜PM関連書籍著＞ 監修 PMI 日本支部 「PMツールの実践的活用」プロジェクト 翻訳メンバー PMIプログラムマネジメント標準 第2版
参加費	J U A S 会員/ITC：33,800円 一般：43,000円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み) 【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信 (指定会場はありません)
対象	プロジェクトマネージャー、プロデューサー、リーダーシップ発揮が要求されている方 中級
開催形式	講義、グループ演習
定員	20名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)
特記	・お申込み後マイページより受講票をダウンロードして内容をご確認ください。 ・演習や質疑応答でマイクを利用することがあります。ご発言いただける環境にてご参加ください。
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態

ライブ配信（Zoomミーティング）【[セミナーのオンライン受講について](#)】

■テキスト

開催7日前を目途にマイページ掲載

■開催日までの課題事項

特になし

更にレベルアップしたPMになるために。

◆◆まずは第一歩！小さなムーブメントをあなたが起こす！

プロジェクトマネージャのための

組織・プロジェクト変革推進時の利害関係者への意識改革 具体的アプローチ◆◆

◆本講座の特徴◆

1. 何故、人と組織は変わらないのか、その本質を理解する。

2. 個人・チーム・組織が、理論と実例、ケーススタディ（演習）を通して、ムーブメントを起こす意識改革を進める能力開発（成長）を実現する方法を修得する。

3. ムーブメント・意識改革をチーム・組織に迫る人は、周囲から攻撃され、孤立は避けられない。
その攻撃のリスクを軽減し、前進させる方法を理解し、また攻撃されても変革を進める意義を見出す。

◆参加者の声◆

- ・人を動かすために必要な事（技術・文化の切り分け）が知れ、実践的な内容であった。知りたいことがわかり、大変満足している（製造）
- ・上位組織への変革アプローチを説明してくれる 세미나は、とても少ないので貴重（金融）
- ・これまで受講したことのない内容のセミナーであり、大変いい刺激になった（インフラ）
- ・個人・チーム・組織、それぞれの側面でアプローチの仕方を学べ、実践的（IT）

◆趣旨◆

IT業界を取り巻く環境は、激変しています。IT要求が二極化しています。
既存の大規模システムに対する技術面の老朽化対応、システムの肥大化・複雑化対応、ブラックボックス化対応は、待った無しの経営課題です。その大規模システムの維持管理コスト削減の要求は、高まるばかりです。

一方、IoT等の新しいデジタル技術や、アジャイルへの適応等、かつてやった事がない技術に適応することが、企業生き残りの条件として経営に突きつけられています。
言葉を変えると、個人・チーム・組織・企業として、スキル、ロール（役割）の変化（グローバル対応）が求められています。
但し、多くの心理学者の研究では、「必要だと分かっている、85%の人が行動すら起こさない。人は、変化を嫌う。」という報告が言い尽くされています。

その中で、あなたが企業文化を変える・組織を前進させるムーブメントを起こすプロジェクトマネージャ（PM）だとすれば、あらゆるチーム・組織から攻撃を受け、締め出される事になり、経営から託された変革は失敗することになります。
あなたは、PMとして目標を達成するために、まず自分自身の意識改革、部下、チーム、組織の意識改革の進め方、能力の高め方を理解する必要があります。
変革はトップがやる事と決めず、まずPMご自身のあなたが前に進む必要があるのです。
企業文化を変える・組織を前進させるムーブメントを起こすのはあなたです。

本講座では、理論と事例、ケーススタディの演習を通して、本当の意味で意識改革・ムーブメントを進める能力開発（成長）を実現する方法を修得して頂きます。
具体的には、「変わりたくても変わらない」という心理的なシレンマの深層を掘り起こす「免疫マップ」手法、そして、総論賛成、各論反対となるなか、変革を推進するため、「技術問題」と「適応課題」を切り分け、組織の熱気・温度のコントロールの仕方を説明します。

現在、デジタル時代の技術要素を取り入れてムーブメントを起こす必要があるPM、あるいは、その技術要素を実現する上で必要となる様々な最新のフレームワーク（アジャイル、デザイン思考、リーンスタートアップ、ポートフォリオ、プロジェクトマネジメント、プログラムマネジメント、ビジネスアナリスト等）を適用する必要があるPMにとって必見の講座です。
ご自宅からでもオフィスからでも、ぜひ、実りある参加型オンライン研修にご参加ください！

◆内容・スケジュール◆

- 第1章 PMを取り巻く環境の変化
- 1. 1 日本社会の課題
 - 1. 2 ITの成功要因の変化
 - 1. 3 PMを取り巻く環境の変化
 - 1. 4 PMIの主張
 - 1. 5 リーダーシップの定義
 - 1. 4 新しい時代のリーダーシップとは

- 第2章 なぜ、人と組織は変わらないのか
- 2. 1 免疫マップとは
 - 2. 2 なぜ、人と組織は変わらないのか

- 演習1：ある優秀な部下の「免疫マップ」を作成する
- 演習2：その部下の「目標への道のり」を作成する
- 演習3：自己変革をする

- 2. 3 世界認識の方法変わる
- 2. 4 人の知性に関する新事実
- 2. 5 知性の3段階の特徴
- 2. 6 成人の知性のレベルの分布
- 2. 7 個人が知性のレベルを向上させるための戦術

- 2. 8 人の知性に関する新事実（纏め）
- 2. 9 EQ（感情知性）とは
- 2. 10 EQリーダーシップとは
- 2. 11 組織を変える
- 2. 12 集団レベルの作業を進める場合
- 2. 13 なぜ、人と組織は変わらないのか（纏め）

第3章 変革プロジェクトに求められるリーダーシップ

- 3. 1 「変革プロジェクトのリーダーシップ」が求められる背景
- 3. 2 変革プロジェクトのリーダーシップとは
- 3. 3 変革とは、何を意味するか？
- 3. 4 しかし、大規模な改革が上手くいかないのは、
- 3. 5 変革の難しさ？
- 3. 6 総論賛成、各論反対、ヒエラルキーの中を進むリーダー
- 3. 7 コッターのリーダーシップ論とは何か？
- 3. 8 コッターのリーダーシップによる「リーダーシップ」と「マネジメント」の区分
- 3. 9 変革実行のフレームワーク
- 3. 10 何故、変革プロジェクトのPMは、失敗するのか？
- 3. 11 大規模プロジェクトにリスクマネジメントを適応する
- 3. 12 システムの崩壊という錯覚
- 3. 13 「技術的問題」と「適応課題」を区別する

演習4：「技術的問題」と「適応課題」を区別する

- 3. 14 不均衡の中で生き抜く
- 3. 15 組織の温度のコントロール
- 3. 16 心理的な安全な場所をつくる
- 3. 17 上手に失敗して、早く成功する

第4章 自分のリーダーシップスタイルを振り返る

演習5：ありたい姿を描く

演習6：現状の自分を客観視する

演習7：ギャップを埋める

おわりに

- ・何を、学んだか？
- ・何が、活かせるか？

※PMP資格取得者の方へPDU取得修了書、これからPMP資格を目指す方には、「受講証明書」を発行いたします。（Power Skills 8 PDU）